

<事業名> 新温泉町 認知症フレンドリー講座 認知症 VR 体験会

団体名	新温泉町社会福祉法人連絡協議会
所在地	兵庫県美方郡新温泉町湯
代表者名	堀本 章治

事業内容	<p>【 日程 】 11月3日(水)</p> <p>【 場所 】 保健福祉センターすこやか〜に 2階多目的ホール</p> <p>【開催時間】 ①9:00~9:50 ②10:00~10:50 ③11:00~11:50 ④13:00~13:50 ⑤14:00~14:50 ⑥15:00~15:50</p> <p>【 内容 】 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、新温泉町に在住または就業されている13歳以上の方を対象とした。 地域住民(15名定員×6回)に50分程度の認知症フレンドリー講座認知症VR体験会を受講してもらった。</p>
地域	新温泉町
事業の効果	<p>①団体(組織)内の効果 事業の案内やチラシを各法人で分担し、中学校・高等学校・福祉事業所などに配布を行う事で地域の事業所との関わりを広げる事が出来た。また、事業所から職員の研修のためにと積極的な参加申し込みを受けるなど、相互的に効果を得られる関係となった。</p> <p>②地域への効果 1年越しの事業開催ということもあり、アンケートの中にも「1年待った甲斐があった」など、肯定的なご意見を頂く事が出来た。また、アンケート回収率が100%という事からも、参加者への認知症理解、啓発効果は想像以上に大きかったと感じた。 VR体験という事もあり、参加者の年代を調査した所、91名中、40代以下46名とかなり、若い世代に興味を持って参加してもらった事が出来た。また、福祉施設事業所の職員にも高い関心を持っていただき、多くの専門職の方にも参加してもらえた。 認知症への理解についてアンケート調査した所、91名中79名が「はい」と回答。コメントの中にも「座学だけでは感じられない事を体験できた」「認知症の方はどんな見え方、思いでおられるのか以前から気になっていましたが、VR体験してみて、体験する前の創造とは違っていました。とても不安だったり、恐怖も感じました。今後、この思いを思い出し接していこうと思いました。」など体験を通じて、よりリアルに認知症を感じ、正しい理解につながった。</p>
事業経過	<p>3年9月27日 企画会議(実施内容確定・詳細・役割分担決め)(場所:すこやか〜に) 令和2年度実施予定で中止したため、詳細については前年度企画していた流れを採用。</p> <p>9月下旬から10月上旬にかけて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ・ポスターの作成。 ・後援依頼(新温泉町・新温泉町教育委員会) ・介護保険事業所・各種協議会にて広報活動。 ・町内10ヶ所にポスター掲示依頼。 <p>11月3日 イベント当日(町文化祭と同日の開催)・アンケート実施</p>

協働の相手方	後援協力 : 新温泉町 新温泉町教育委員会
今後の課題等	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>①団体（組織）の課題 新温泉町は社福法人が4法人しかない（全て高齢施設）。団体の構成としては、法人を中心となってしまいが、賛助会員等考慮しながら会員と事業種別（カテゴリー）を拡大していく。また、既存の各協議体へ出向き、連絡協議会として協力できる事や新たな仕組みづくりに参画していく事も必要と考える。</p> <p>②地域の課題 コロナウィルス感染拡大防止策として、集合体の研修形態を避け、少人数で複数回の開催を行った。参加者への効果は高く、アンケートにも「もっと多くの方に参加してもらう機会を作ってほしい」「50分ではなく2時間のしっかりした研修を聞いてみたい」などご意見を頂いた。認知症患者が増える中、正しい理解者を増やし共生社会実現に向け啓発活動を継続する必要性を感じた。</p> <p>〈令和4年度以降の事業計画〉 本年度の協働体制を維持し、町内の事業所や行政とも連携を図りながら今回頂いたアンケート内容を参考に次年度の活動計画を協議していきたい。</p>



3年11月3日 認知症について講義



3年11月3日 VR体験の様子



3年11月3日 開会の様子



3年11月3日 受付の様子